

# しまなみぐるりんロード

8月12日(月) ~ 8月16日(金)

IN しまなみ海道

	午前	午後	夜
1日目	尾道に向けて出発	自転車講習 キャンプ場に移動	振り返り
2日目	向島へ出発	大島へ	振り返り
3日目	今治駅へ	折り返しスタート	振り返り
4日目	因島へ	尾道港にてゴール	外食・振り返り
5日目	大和ミュージアム見学	施設を出発・解散	

**一日目:** 今年初めての試みのキャンプとして、しまなみ海道往復チャレンジキャンプがやってきました。今回のチャレンジャーは人数こそ少ないですが、やる気に満ち溢れておられ、同時に緊張感を持って集合されました。初日は主に移動なので、この間にしっかりグループ間の交流を深め、関係を築き、現地へ向かいました。尾道に到着すると、早速自転車を借りてターミナルへ向かいました。この自転車が四日間の相棒となります。皆、普段から自転車に乗られているのですが、改めて自転車の乗り方と注意しないといけない事、集団での走り方などを伝え、練習を行いました。本番は明日からなので、この日は一旦終わりにし、宿泊先のキャンプ場へ移動しました。これまでにキャンプや活動に参加されたことのある方々なので、荷物の運搬や準備や作業は本当に手早く、こちら側が言わずとも次々と進めておられました。夕食を済ませた後、振り返りの時間です。今回の振り返りは目標を設定し、それをクリアできる為に何が必要かを、毎夜考えていただきます。今日はこういったグループになりたいかの最終目標を定め、それに対してどうアプローチを掛けていくかを話し合いました。明日からしまなみぐるりんロードの本番です。早めに休んで、明日に備えましょう。



**二日目:** 早々に走り出す為に、朝早くに起きて片付けや朝食を済ませました。テントや寝袋の片付け、荷物の整理、積み込みとやる事が多かったのですが、テキパキと済ませる事で、予定より早く完了させる事が出来ました。キャンプ場を出発し、再びターミナルへと戻ってきました。ついにスタートです!! 尾道から初めの島“向島”へは渡船を利用して向かいます。渡船にて島を渡り、自転車を漕ぎ出すとこれまでの雰囲気から一変し、緊張とワクワクが起こりました。走り出す前まではお気楽な表情でしたが、走り出すと皆真剣な表情で、ふざける事なく走っています。島から島へ渡る時、大きな橋を渡ります。下は海があり、その迫力に興奮を抑えられない様子でした。途中のスーパーで昼食を済ませ、お腹も満たした後、“サンセットビーチ”に立ち寄りしました。水着に着替え、この時は暑さを忘れるぐらい楽しみました。そして、気持ちを切り替えて、更に島を進み、今回の目的の島“大島”に着きました。大島は島全体が丘になっており、序盤からひたすら上り坂となっています。しかし、ここでも誰一人弱音を吐く事なく上りきりました。そして、今回の宿泊先に到着しました。40km以上走ったので、体力もへトへトで、一目散にお風呂へ向かいました。入浴を済ませ、体を整えると一気にお腹が減ってきたようです。夕飯の準備を終えると、いただきますの合図とともにすごい勢いで召し上がっておられました。お腹も満たされると、各部屋で振り返りの続きです。昨日設定した目標は今日達成出来たのか、それに対して新たに目標を設定してもらいました。明日は折り返しです。怪我なく進んでいきましょう!!



**三日目:** 朝はゆっくりと起きてきました。今日は今治駅まで行き、折り返しの日です。今日も無事故、無怪我で乗り切りたいです。朝食をしっかり食べ、気合を入れて出発しました。大島の一番丘の上にて宿泊しておりましたので、長い下り坂を爽快に走り抜けました。暑さも忘れるぐらい風が涼しかったです。そして、目の前に今回渡る橋で一番大きな橋である“来島海峡大橋”を渡りました。これまでに比べものにならないほどの大きさに驚きと興奮を隠せない様子でした。大橋を渡り切ると、今治市内に入りました。順当に進み、ついに折り返し地点である“今治駅”に着きました。既に達成感に浸っている様子ですが、ここから往路になります。しっかり昼食を取り、パワーを蓄えたら、「さて、帰ろうか。」の合図で復路スタートです。往路の時のような弱音を吐く事なく、皆上り坂を一生懸命漕いでいる姿はこの三日間で確かな成長を感じました。昨日宿泊した交流館に戻つ





てくと、入浴を済ませ、振り返りを行いました。今日の振り返りは昨日までと異なり、一人一人がグループに向き合い、深掘りをして話し合いをされていました。内容を確認しても、メンバーに向けた悩みや考えが明確に、具体的に書かれておりました。明日はついにゴールの尾道港に帰ってきます。最後まで油断せずに進んでいきましょう！！



**四日目：** 自転車のチャレンジも最終日となりました。これまでに培ってきたものを最大限に活かして、尾道港へ戻ります。二日目の時は日没前のゴールでしたが、今回はどのぐらい頑張れるでしょうか。朝から皆の動きからどこか緊張を感じる事が出来ました。往路とは違い、お気楽ムードはなく、一丸となってゴールを目指そうとする気持ちを十分に感じ取れます。朝食を済ませ、予定通りの時間に出発しました。往路とは異なり、ちよつとやさつとな登り坂では足を止めず、ひたすら漕ぎ続ける姿が伺えました。遅れる友達がいたら、叱咤激励をかけ、見えない手で押し上げていました。昼食時もダラダラ済ませず、食べ終わり次第、「行こう！」と誰かしら声を掛けておられました。そうして、次々と島を越え、予定していた時間よりも大幅に早く最後の島「向島」に到着する事が出来ました。グループ間が少し開いていたので、渡船乗り場近くのスーパーにて合流し、最後は全員で渡船に乗り、尾道港を目指しました。そして、ついに尾道港に帰ってきました！！皆のこれまでの努力と頑張りが大きく実り、達成感は半端ではない様子でした。本当に嬉しそうな表情をされていました。そしてなんと、ある参加者の親御様がゴールに駆け付けていただき、横断幕と差し入れをいただきました。そのサプライズにご本人はもちろんのこと、周りも驚いておられました。四日間共に過ごした自転車を返却し、宿泊場へ向かいました。本日の夕食は、“福山SA”に行き、各々食べたいメニューを召し上がっていただきました。ほとんどの方はご当地ラーメン【尾道ラーメン】を召し上がっていました。帰りの車内で既に眠っておられる方が沢山おられ、施設に戻るとすぐに眠たいとの事で、みんな爆睡されていました。本当にお疲れ様でした。



**五日目：** 朝は少しゆっくりとする事が出来ました。朝の支度を済ませ、施設を出発し、朝食を購入して、無事にゴール出来たご褒美として、“呉市”へ向かいました。今回、呉市の“大和ミュージアム”に行きました。到着すると目の前に原寸大の潜水艦が展示されており、中に入ると1/10スケールの【戦艦大和】が私達を迎えてくれました。その迫力に「おおー！」と歓声が上がっていました。館内は戦争についての歴史資料が展示されていたり、船の仕組みを遊びながら学べる場所があったり、楽しみながら勉強になる内容が詰まっていたり、向かいにある“海上自衛隊資料館”では、原寸の潜水艦の内部を見学する事が出来、狭い中にも関わらず、様々な機器が備わっていたり、寝る場所があったりする事に驚きました。昼食を済ませ、呉市を出発しました。帰りの道中はとても長いので、途中のサービスエリアにてお土産を購入したり、友達と談笑をしたり、疲れを取るために休んだりしました。関西に戻ってくる頃から最後の振り返りを行いました。『このキャンプを通して、何を学び、何を活かし、何をみて感じる事が出来たのか？』を話し合いました。また、これまでの振り返り内容から自分達の軌跡を確認しました。振り返りを終え、しばらくすると尾道に到着し、一緒に走り切った仲間とお別れの時となりました。親御様の目の前となると、これまでの緊張が解けた様子が伺えましたが、出発の時とは異なる、逞しさが残る素敵な表情で帰路につかれています。



## <キャンプ総括>

今年から初めての試みとして開催致しました。改善の余地は大いにありますが、初めてとしては大成功だったと思います。今回ご参加いただきました方々は過去に何かしらの活動にご参加いただいておりますので、とても話がスムーズに進み、且つご自身で考えて動いていただけたので、非常に円滑に進める事が出来ました。これまでは片道の【しまなみロード】は開催しとおりますので、「ここから復路か…」という気持ちがありました。しかし、メンバーは俄然やる気が出ておられ、逆に復路の方が全体的に早かったです。体力は確実に減っていますが、気力や結束力は増しており、その力が皆を推進させたと感じております。本人の個の力よりもいかに『団結力』が勝っているかが分かります。そして、それを目の当たりに出来るのが【しまなみぐるりんロード】の最大の魅力であると思います。メンバー、リーダーが絶えず意識し、注意を払い続け走ってくれたおかげで、大きな怪我、事故なく終える事が出来ました。心から感謝致します。来年も走りますので、是非とも一緒に走破しましょう！！そして、本当に頑張りました。おめでとう！！ (竹中 哲郎)